

オリジナルの「すぐれもの仏壇」 初代製作の仏壇(明治初期)も展示

佛源 (愛知県蒲郡市)

佛源の創業は明治十四年、現在の西尾市吉良町で生まれた小林源次郎が初代である。過去帳によれば源次郎の前には寺の役僧をしていた先祖もあり、その辺りが仏壇作りのきっかけになったのかもしれない、と五代目で現当主の小林宏充氏は語る。

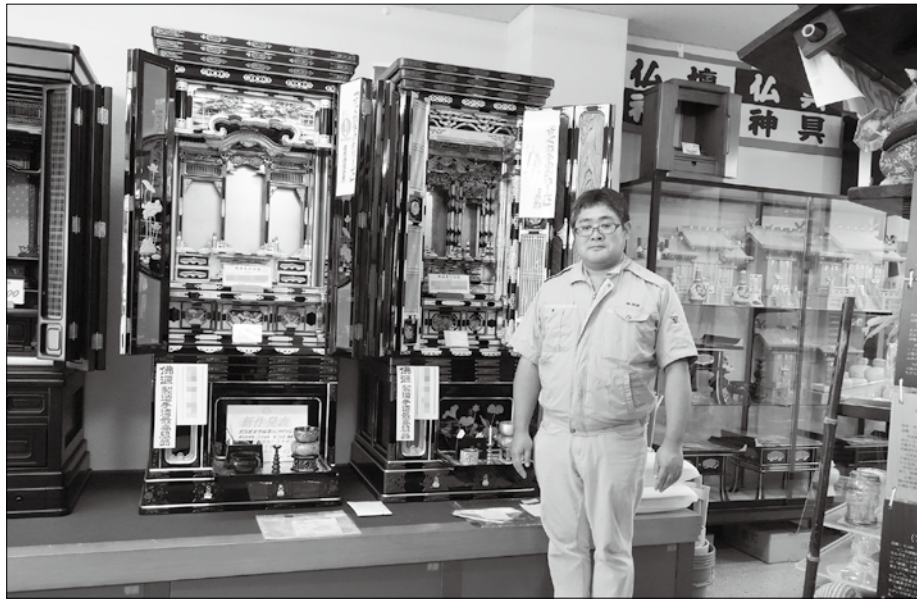
佛源のある蒲郡市は三河であるが、東が豊橋市に接する。寺院宗派の内で見ると真宗大谷派が多く、次に浄土宗西山深草派(せいざんふかくさ)は、曹洞宗となる。日蓮宗陣門流の寺院が多くあることも特長で、販売される仏壇・位牌も多様だ。

店舗に入ったところには明治十五年に初代が作った仏壇が展示してある。「内彫りと屋根に小林源次郎の銘があり、初代の作品と分かりました。その後三代目の栄一が修理していることも分かっており、当店にとっては宝のようなお仏壇です」と宏充社長は語る。

佛源 蒲郡市中央本町四一二八 TEL〇五三三(六八)五〇八三 FAX〇五三三(六八)六七八

仏具類を乗せる引き台が下台に収納されており、使い勝手の良い仏壇となっている。佛源製の「すぐれもの仏壇」は実用新案登録もされている。

店内で目を引かれるのは、大型の瓶子(御神酒徳利)が置かれていること。「お祭の時などにお買い求めになられる事があり、常に在庫しています。仏事にも神事にも熱心なのが蒲郡です」と小林社長は語る。



五代目となる佛源社長小林宏充氏 正面の二本はオリジナルの「すぐれもの仏壇」



初代小林源次郎作のお仏壇 (明治15年)



佛源のオリジナル仏壇が 店内には並ぶ



佛源店舗